

JSAの感想

JAPAN FOUNDATION から第 16 回海外高校生によるスピーチコンテストに参加する機会を与えていただき、オーストラリアの代表として、楽しい三日間を過ごすことができました。残念ながら、開催期間中に大学入学に関わる大切な試験があったので、十日間のうちの三日間のみの滞在となりましたが、その間、世界中から集まった同世代の友達に出会い、異なる文化に触れる貴重な経験もできました。今回は生まれて初めて両親から離れ、他の参加者たちと研修施設に泊まることになったことも、私にとってはとても印象的な思い出のひとつです。

一日目は、8 時頃に青少年の家にカチカチに緊張して到着しましたが、すぐに北川さんとラウラさんの暖かい歓迎でその緊張がほぐれていきました。そして、誰もいない部屋で荷物を片付けいたら、マレーシアから来た湘ちゃんに話し掛けられ、みんなと一緒に大浴場に行くことになりました。みんなと一緒に裸になって、お風呂に入ったのははじめての経験でした。もちろん聞いたことはありましたが、やっぱりちょっと恥ずかしくて戸惑ってしまいました。お風呂から上がった後、湘ちゃんに誘われて一緒に部屋になって、みんな簡単な自己紹介をしました。ルームメイトは湘ちゃん以外に、アメリカから来たアマダちゃんとカンボジアの代表のチャンボンちゃんでした。三人ともやさしくて親切だったから、すぐに仲良くなりました。

二日目は、午前中に自己紹介ゲームをして、あみだくじで翌日のスピーチコンテスト順番を決めました。その後、日本語のワークショップで、川柳を習ったり、ことわざカルタもしたりしました。日本の伝統的な文化を知る勉強にもなったし、各国の参加者のレベルを見ることができて、いい刺激になったと思います。それから、翌日のスピーチコンテストの準備をして、練習して（本当はしてないけど…）、湘ちゃんと夜中まで、時間を惜しんでいろいろな話をしたことは、今でもいい思い出です。

三日目は、スピーチコンテスト当日で、全員緊張していました。そのコンテストで世界各国の代表のスピーチを聞いて、世界レベルの凄さを実感しました。私はオーストラリア代表として、自分の経験に基づいた「ゲームから見えた世界」というスピーチをしました。今まで何度も練習し、校正してきたけれど、本番はすごく緊張して、噛んでしまいました。でも、自分の全力を尽くせたという爽やかな気持ちが起こりました。さらに、みんなの日本や日本語学習に対する熱意を知って、私も頑張ろうという励みにもなりました。その後のパーティーは、たくさんの友達に出会って、日本人のスタッフとも親しくお話しができて、貴重な体験でした。今でも、その人たちとフェイスブックをしたり、メールを交換しています。

このような貴重な体験ができたことで、もっと日本語を勉強しようという意欲が沸いてきました。さらに、いろいろな国の友達ができただけでなく、滞在中一番楽しかった思い出です。